

CDL_7SegmentsLED_BlackBack_Ver1.02.ttf

使用説明書

コミュニケーションデザインラボ

梶本洋子、小林哲之

CDL_7SegmentsLED_BlackBack_Ver1.02.ttfとは、

CDL_7SegmentsLED_BlackBack_Ver1.02.ttf (以後、当フォントと略します)は、コミュニケーションデザインラボ(以後CDLと略します)がマニュアル制作の効率化を目的として作成した”CDL_7SegmentsLED_WhiteBack_Ver1.00.ttf”を基に、黒背景に対応したフォントです。

当フォントの概要

当フォントの字形自体は、一般的な1文字当たり7セグメントのLEDキャラクタにあわせてあります。ゆえに、フォントの字形(デザイン)自体に独自性はありませぬ。

CDLは、独自に次のような工夫を加えてTTFフォント化を行っており、この部分に独自性が存在します。

- ・ LEDにて表示される字体をPC上で実現するため、MSゴシックにアセント：ディセント比などをあわせてある。
- ・ LED表示を再現するために、等幅フォントとしてデザインしている。ただし、”.”(ピリオド)を実現するために、多少変則的な縦横比となっている。
- ・ 7セグメントと呼ばれるLEDに、実際にはピリオドが8セグメント目として存在する。これの点灯、不点灯を表現するため、数字や文字と点灯したピリオド、点灯していないピリオドを組み合わせ、2文字で1つの表示を実現している。
- ・ 文字を構成するLEDセグメントのサイズ、各セグメントのギャップなどは、印刷することを前提に、よりLEDらしく見えるようCDLで微調整を行ってある。

使用許諾条件

- ・ 個人の場合：どんでんお使ください。
事後で結構ですので、何に使用したのかメール(cat@cup.com)で連絡ください。
制作の励みとなります。
- ・ 企業の場合：事前にメール(cat@cup.com)で使用目的等をご連絡ください。
ご連絡のメールが到着した時点で使用を許諾します。
当方からの返信を待つ必要はありません。
- ・ CDL取引企業の場合：CDLが制作物を納品した納品先において、制作物の修正/印刷などが必要になった場合には、自動的に使用を許諾します。CDL取引企業から外部企業に制作委託などされる場合、取引企業様の指揮監督下であることを条件に、自動的に使用を許諾します。CDLへ連絡する必要はありません。

配布条件

- ・ 本ドキュメントを改変することなくフォントファイルと一体のものとして配布してください。
- ・ オリジナルの所在を明記してください。(http://cdl.cup.com/)
- ・ 事前にCDLの許可を得てください。
- ・ フォント自体を有償で配布することを禁じます。
- ・ フォントを使用して作られた2次作品（印刷物、PDF、画像、等）には、CDLの著作権等は及ばないと認識しております。ゆえに、それらに関して、何等の制約も設けません。

免責

- ・ CDLはフォントおよび本ドキュメントに不備がないよう、極力努めております。しかし、それらを保障することはできません。
- ・ 本フォントを使用した、もしくは、使用できなかった結果、発生した問題に関し、一切の責任を負いません。

サポート

- ・ メールでの問い合わせを受け付けております。(cat@cup.com)
極力迅速に返信するよう心がけますが、繁忙期などは返信が遅れる場合があります。
その場合は、再度、メールいただけますようお願いいたします。
尚、迷惑メールフィルタ等を使用している関係で、お出しいただいたメールがフィルタされてしまうことがあります。
- ・ 不備、不具合などございましたら、是非、ご指摘ください。
可能な限り対応したいと考えております。

使用方法

コントロールパネルのフォントフォルダにドラッグ&ドロップするだけでインストールされます。

Wordから使用する場合、[挿入]-[記号と特殊文字]を選んで、フォント名にCDL_7SegmentsLED_BlackBackを選択することでフォントの一覧を参照できます。入力したい文字をダブルクリックすることで入力されます。

フォントをCDL_7SegmentsLED_BlackBackと指定してあれば、キーボードから入力することもできます。

ただし、7セグメントで表現不能な文字には、字形が入っていません。また、記号部分には、本来の記号とは違った字形が割り当てられています。

使用方法

当フォントは、2文字で1つの字形を形成するという、特殊な設計になっています。

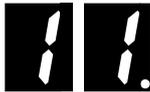
ゆえに、ここに説明する使用方法に準じて使用してください。

次のようなLEDの表示を実現する場合を例に、方法を説明します。



写真では「11.」という表示になっています。

これをCDL_7SegmentsLED_BlackBackで表現すると、次のような表示になります。

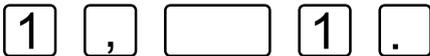


2文字に見えますが、4文字とスペースで構成されています。

1文字単位に分解すると次のようになります。



キーボードから入力すると、次のような手順になります。



すなわち、数字や文字と“,” (カンマ)もしくは“.” (ピリオド)を組み合わせて1文字を表現しています。

“,” や “.” と数字や文字の間に空白が生じないように、フォント間の間隔が開かないように設計しています。

ゆえに、文字間を表現したい場合は、スペースを入れる必要があります。

ちなみに、ピリオドが点灯していない状態を、カンマに割り当ててあります。

制限

文字間隔を広げないでください。

使用方法で説明したような構造になっているため、文字間を広げると数字や文字と“,” “.” の間に空間が生じ、1文字に見えなくなってしまいます。

文字間隔を狭めないでください。

文字間隔を狭めると、文字や数字とピリオドが重なってしまい、ピリオドが消えて見えることがあります。

以上